

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### 【施設利用及び利用料金収入の状況】

(第1期指定管理期間内の実績) ※以下の表は、平均値の算出の関係上、合計欄が合わない箇所がある。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
展覧会入館者数	27,584人	29,578	34,898	35,720	32,362	32,028人
うち有料入館者数	9,329人	14,611	16,932	15,160	12,576	13,722人
会議室利用件数	515回	634	637	744	717	649回
会議室利用者数	13,366人	22,952	18,050	23,192	19,866	19,485人

(第1期指定管理期間内の実績) (単位：千円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
観覧料収入	3,868	6,244	8,220	7,068	5,699	6,220
会議室使用料収入	1,906	2,709	2,375	2,880	2,767	2,527
利用料金収入計	5,774	8,953	10,595	9,948	8,466	8,747

(第2期指定管理期間内の実績) (単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
展覧会入館者数	45,348人	27,973	33,715	46,255	46,205	39,899人
うち有料入館者数	31,550人	16,725	22,019	30,821	31,133	26,449人
会議室利用件数	682回	778	771	703	674	722回
会議室利用者数	19,133人	21,966	22,898	20,494	18,963	20,691人

※H23年度から65歳以上、高校生が有料化

(第2期指定管理期間内の実績) (単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
観覧料収入	13,329	5,795	8,640	12,999	12,027	10,558
会議室使用料収入	2,505	3,101	2,991	2,436	2,464	2,699
利用料金収入計	15,834	8,896	11,631	15,435	14,491	12,865

※H23年度から65歳以上、高校生が有料化

(第3期指定管理期間内の実績) (単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
展覧会入館者数	47,774人	47,857	42,334	45,949	8,902	38,563人
うち有料入館者数	31,600人	30,873	28,416	28,936	5,905	25,146人
会議室利用件数	748回	735	818	729	144	634回
会議室利用者数	19,091人	21,388	22,382	21,237	2,914	17,402人

(第3期指定管理期間内の実績) (単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
観覧料収入	13,019	10,933	11,177	12,099	2,396	9,924
会議室使用料収入	2,503	2,648	2,846	2,937	523	2,291
利用料金収入計	15,522	13,581	14,023	15,036	2,919	12,216

(第4期指定管理期間内の実績) (単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和3-6平均
展覧会入館者数	21,200人	41,572	44,677	36,387	35,959人
うち有料入館者数	13,773人	28,187	32,351	26,600	25,227人
会議室利用件数	212回	395	432	398	359回
会議室利用者数	5,207人	10,468	11,361	11,333	9,592人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

(第4期指定管理期間内の実績)

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
観覧料収入	6,848	13,034	13,912	13,152	11,736
会議室使用料収入	805	1,639	1,550	1,485	1,369
利用料金収入計	7,654	14,673	15,463	14,637	13,106

#### 【事業収入の状況】

(第1期指定管理期間内の実績)

(単位：千円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
図録販売収入	3,035	2,517	3,505	3,416	3,254	3,145
講演会受講料収入	1,569	951	1,547	1,459	1,634	1,432
文字活字事業収入	1,453	1,652	1,207	1,075	1,053	1,288
事業収入計	6,057	5,120	6,259	5,950	5,941	5,865

※文字活字文化振興事業は20年度から指定管理事業に組み替え

(第2期指定管理期間内の実績)

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
図録販売収入	2,339	2,479	4,526	5,965	3,843	3,830
講演会受講料収入	2,249	1,360	1,673	1,516	2,038	1,767
文字活字事業収入	1,006	809	1,280	1,087	539	944
事業収入計	5,594	4,648	7,479	8,568	6,420	6,542

(第3期指定管理期間内の実績)

(単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
図録販売収入	5,592	3,418	3,384	3,448	969	3,362
講演会受講料収入	2,130	2,420	2,106	2,374	431	1,892
文字活字事業収入	315	298	225	227	196	252
事業収入計	8,037	6,136	5,715	6,049	1,596	5,507

(第4期指定管理期間内の実績)

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和3-6平均
図録販売収入	3,336	3,886	4,361	8,566	5,037
講演会受講料収入	893	1,739	1,018	1,789	1,360
文字活字事業収入	96	724	1,824	2,030	1,169
事業収入計	4,325	6,349	7,203	12,385	7,566

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### ■講演会等の開催 (h18-R6)

観覧者に展示内容の理解を深めて貰うため、関連する講演会、講座等を実施しました。

#### ○講演会・講座・朗読会・シンポジウム

会場=展示館ホール

	期 日	講 師	内 容	入場者数
吉屋展	18年4月30日(日)	五大 路子	『徳川の夫人たち』より(朗読)	206人
	5月3日(水・祝)	嶽本野ばら	「吉屋信子の少女小説-『花物語』を中心に」	218人
	5月6日(土)	新井 純	『鬼火』『童貞女昇天』(朗読)	116人
	5月13日(土)	伊藤かずえ	『あの道この道』から(朗読)	118人
中野	7月1日(土)	高橋 一清	「作家・中野孝次の生き方-担当編集者28年の思い出」(講座)	294人
俳句	10月14日(土)	長谷川 權	「闘う人、虚子」	286人
	10月21日(土)	村上 護	「山頭火の旅と俳句」	192人
小林	11月19日(日)	青木 玉	「小林勇さんのこと」	227人
		小松美沙子	「一本の道」	
中也	19年4月22日(日)	毬谷 友子	中原中也、富永太郎の詩ほか(朗読)	229人
	4月28日(土)	窪島誠一郎	「富永太郎の詩絵のこと」	179人
	5月6日(日)	高橋 睦郎	「なぜ中原中也か」	199人
壇谷	10月7日(日)	島田 雅彦	「100年後のぷふい」	208人
	10月13日(土)	立石 伯	「21世紀に生きる『死霊』」	101人
	10月20日(土)	寺田 農 奥澤 竹彦(音楽)	「死霊」第5章「夢魔の世界」から(朗読)	150人
澁澤展	20年4月27日(日)	三浦 雅士	「澁澤龍彦と小林秀雄」	122人
	5月3日(土・祝)	高橋 睦郎 澁澤 龍子(ゲスト)	「最高のホスト」 ゲスト対談「シブサワ素のまま」	273人
	5月5日(月・祝)	四谷シモン	「澁澤さんと人形」	304人
	5月10日(土)	平出 隆	「夢のかたち」	142人
台湾文学展	6月14日(土)	藤井 省三 紀田順一郎	対談「台湾文学の魅力」 (共催：国立台湾文学館、台湾行政院文化建設委員会)	103人
	6月15日(日)	張 良澤	「台湾における梁啓超と呉新榮」 -日本統治下のある中国知識人と台湾知識人の台湾新旧文学に対する影響(共催：同 上)	102人
	7月5日(土)	辻原 登	「台湾の文学と友人たちに寄せて」 (共催：同 上)	55人
	7月13日(日)	黄 英哲	「台湾の『藤野先生』-台湾における魯迅文学-」(共催：同 上)	49人
堀田展	10月11日(土)	宮崎 駿	「方丈記私記と私」	242人
	11月15日(土)	夏八木 勲	「方丈記私記」から(朗読)	215人
	11月16日(日)	紅野 謙介 堀田百合子(ゲスト)	「堀田善衛と上海」 ゲスト対談	204人
子規から虚子	21年3月7日(土)	稲畑 汀子	「虚子俳句の変遷」(共催)	270人
	3月20日(金・祝) (シンポジウム①)	有馬朗人、稲畑汀子 大串章、深見けん二	「花鳥諷詠」(共催) 稲岡長(コーディネーター)	223人
	3月28日(土)	小沢 昭一	「小沢昭一的俳句のこころ」(共催)	228人
	4月4日(土) (シンポジウム②)	稲畑廣太郎、今井肖子 岸本尚毅、筑紫磐井	「花鳥諷詠」(共催) 稲岡長(コーディネーター)	167人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
子規	4月18日(土) (シポジウム③)	今井千鶴子、金子兜太、辻桃子、安原葉	「虚子十句」(共催) 稲畑汀子(コーディネーター)	250人
鷗外展	4月29日(水・祝)	千葉 俊二	講座「鷗外を読む」「雁」	120人
	5月4日(月・祝)	佐藤 慶	「舞姫」(朗読)	258人
	5月9日(土)	加賀 乙彦	「私の鷗外」	222人
	5月17日(日)	小泉浩一郎	講座「鷗外を読む」「高瀬舟」	129人
	5月24日(日)	小川 康子	講座「鷗外を読む」「文づかひ」	74人
中島展	7月5日(日)	紀田順一郎	「書齋派作家 中島敦－読書と散歩－」	180人
	7月18日(土)	加賀美幸子 有富裕子(解説)	「山月記」「名人伝」(朗読) (共催：中島敦の会)	249人
	7月19日(月・祝)	吉崎 一衛	「中島敦の文学－中国文学との関わりから－」	190人
乱歩時雨	10月3日(土)	小林 信彦	「乱歩の二つの顔」	174人
	11月1日(日)	寺田 農	「D坂の殺人事件」(朗読)	233人
二葉	12月13日(日)	平野 啓子	「烏瓜の花」(朗読) (共催：NPO現代女性文化研究所)	187人
城山展	22年4月3日(土)	十川 信介	「二葉亭の道」	112人
	4月29日(木・祝)	井上 紀子 聞き手 野見山陽子(展示担当)	「素顔の城山三郎」	216人
	5月1日(土)	澤地 久枝	「語りつぐべきこと」	282人
開高展	5月9日(日)	渡辺 淳一	「城山三郎の世界－熟年革命」	256人
	6月27日(日)	奥本大三郎	「開高健とアマゾンの自然」 (共催：NPO 法人開高健記念会)	176人
長崎八雲展	7月17日(土)	佐野 眞一	「開高文学の魅力」	241人
	9月5日(日)	西本 鶏介	「長崎源之助文学の魅力」	73人
	10月9日(土)	東 雅夫	「小泉八雲と日本の怪談」	125人
義秀層雲	10月31日(日)	小泉 凡	「ラフカディオ・ハーンと21世紀」	236人
	11月3日(水・祝)	辻原 登	「多面立方体作家、ハーン ーグロテスクな優しさの系譜」	216人
遠藤展	23年2月5日(土)	清原 康正	「峻烈の生と文学魂」	47人
	2月19日(土)	春名 徹	「絶筆『芭蕉庵桃青』の周辺」	46人
	4月9日(土)	復本 一郎	「荻原井泉水著『自由律俳句入門』 を読む」	92人
	4月29日(金・祝)	加賀 乙彦	「遠藤周作さんと私」	278人
	5月29日(日)	妹尾 河童	「河童が語る遠藤周作」	195人
安野	5月5日(木・祝)	兼子 盾夫 富岡幸一郎ほか	「遠藤周作を21世紀に読む」	218人
	5月14日(土)	森 一弘	「遠藤周作の、西欧世界との遭遇、キリスト教との遭遇－作品『留学』から『沈黙』へ『沈黙』から『深い河』へ－」	269人
	5月22日(日)	高橋千劔破 神田 蘭(講談)	「信長の愛した女たち 遠藤周作の歴史小説から」	189人
	8月28日(日)	池内 紀 松田 哲夫	「ミスタ・アンノの魅力と偉大」	182人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
林 展	10月16日(日)	太田 治子	「林芙美子の愛のかたち 『浮雲』をとおして」	242人
	11月5日(土)	川本 三郎	「映画の中の女性たち－ 『放浪記』『晩菊』『浮雲』『めし』」	267人
万 華	2月19日(日)	出久根達郎	「『文字を書く』ということ」 (兼:「私の本について話そう」37)	253人
中 蘭 展	24年3月18日(日)	立石 伯	「歴史と記録の闇を透視する眼 －蘇る中蘭英助の文学魂－」	70人
	3月31日(土)	新保 博久	「中蘭版スパイ・ミステリーを いま読む意義」	54人
茂 吉 展	5月3日(木・祝)	尾崎左永子	「茂吉先生の秀歌とわたくし」	233人
	5月6日(日)	三枝 昂之	「茂吉が生きた時代」	229人
	5月12日(土)	斎藤 由香	「イキイキと元気で生きる 『どくとるマンボウ家の素顔』」	304人
	5月20日(日)	岡井 隆	「斎藤茂吉とその師友たち」	266人
	5月26日(土)	品田 悦一 今野 寿美他	「『絵筆とことば』ゴッホ・ヤスパース ・茂吉」他	147人
重 治 寺 村 展	7月14日(土)	林 淑 美	「中野重治の昭和十年代 『愛しき者へ』の時代」	67人
	8月18日(土)	和歌山静子	「王さまのなかの寺村さん」 (兼:「私の本について話そう」37)	78人
藤 村 展	8月25日(土)	永井 郁子	「寺村輝夫・永井郁子の おはなし会」	127人
	10月27日(土)	十川 信介	「夜明け前」	162人
	11月3日(土・祝)	下山 嬢子	「家」	86人
ひ さ し 展	11月10日(土)	堀江 敏幸	「言葉の『継立て』－藤村の散文 をめぐって」	166人
	25年4月27日(土)	井上ユリ、松山巖	「ひさしさんとの23年」	266人
	5月19日(日)	小森 陽一	「『ユートピア』と井上ひさし文学」	251人
	5月26日(日)	扇田 昭彦	「評伝劇と音楽劇」	174人
中 也 展	6月1日(土)	辻 萬長	「言語生涯』『ふかいことを おもろく』他(朗読)」	232人
	6月16日(日)	安原 喜秀、 中原 豊	「人間・安原喜弘とその時代」	119人
	6月30日(日)	庄司 達也	「蓄音機、Sレコードで聴く －中原中也が愛でた音楽たち」	70人
賢 治 展	7月21日(日)	蜂飼 耳	「手紙から聞こえる言葉」	123人
	9月7日(土)	司 修	「賢治の絵本を語る」 (兼:「私の本について話そう」38)	186人
鏡 花 展	9月21日(土)	司 修	「小さな絵本をつくりましょう」 ワークショップ(中会議室)」	18人
	10月13日(日)	吉田 昌志	「『風流線』の世界－鏡花の長篇小説－」	57人
	11月2日(土)	朝吹真理子、 松村友視	「鏡花を読むよろこび」	210人
黒 岩 展	11月9日(土)	市川 祥子	「『天守物語』の演劇性」	46人
	26年2月22日(土)	伊集院 静	「黒岩重吾の気骨」 (兼:「私の本について話そう」40)	238人
	3月9日(日)	清原 康正	「黒岩重吾の古代史への情熱」	101人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
太 宰 展	4月26日(土)	柳 美里	「私が恋した太宰治」	240人
	5月3日(土・祝)	安藤 宏	「資料から見えてくる太宰文学の魅力」	217人
	5月11日(日)	平田 満	「ヴィヨンの妻」(朗読)	246人
	5月18日(日)	川上未映子	「太宰さん、あなたは何を待っていたのか」	225人
	5月24日(土)	烏居 邦朗	「戦時下の太宰－浪漫的完成への道」	267人
菊 地 展	6月7日(土)	栗津 則雄	「菊地信義と装幀」 (兼:「私の本について話そう」41)	74人
	7月5日(土)	菊地 信義	「装幀の余白から」	202人
な か え 展	9月6日(土)	巖谷 國士	「絵本のシュルレアリスム－チコと瀧口修造」	152人
	9月20日(土)	なかえよしを	「オブジェとしての絵本」 (兼:「私の本について話そう」42)	209人
	10月26日(日)	江國香織、湯川豊	「須賀敦子の魅力」 (兼:「文字活字文化の日」講演会)	214人
須 賀 展	11月3日(月・祝)	湯川 豊	「須賀敦子を読む」 (兼:「私の本について話そう」43)	217人
	11月8日(土)	竹下 景子	「ヴェネツィアの宿」から」(朗読)	235人
	11月16日(日)	松家 仁之	「須賀敦子の手紙」	226人
	27年3月1日(日)	桶谷 秀昭	「文人 寺田透の精神と仕事」	106人
寺 田 展	4月11日(土)	平野啓一郎	「痴人たちの<恋>と<愛>」	223人
	4月18日(土)	NHK横浜放送局ア ナウンサーほか	「富美子の足」「二人の稚児」(朗読)	192人
	4月26日(日)	千葉 俊二	「『春琴抄』前後－谷崎の松子あて・ 佐藤春夫あて書簡を読む－」	222人
	5月10日(日)	寺田 農	「春琴抄」から(朗読)	244人
	5月23日(土)	金井美恵子	「谷崎潤一郎的幸福－あるいは、書 くことの幸福と作家たち－」	224人
中 勘 助 展	6月6日(土)	加賀 乙彦	「『銀の匙』の構造」	233人
	7月4日(土)	黒岩 祐治	「『銀の匙』の授業から学んだこと」 (兼:「私の本について話そう」44)	229人
	7月11日(土)	南谷 朝子	「『銀の匙』を読む」(朗読)	144人
佐 野 展	9月12日(土)	谷川俊太郎、 広瀬弦、刈谷政則	「みんなの知らない佐野洋子」	229人
	9月19日(土)	工藤 直子	「『さのようこ』というひと」	214人
柳 田 展	10月17日(土)	吉増 剛造	「ほとんど遺言といってもよいのでしょう (柳田國男の)声のトーンをめぐって」	133人
	10月31日(土)	山折 哲雄	「柳田國男さんの魅力童児のように歌 い、翁のように語る－」	222人
	11月7日(土)	京極 夏彦	「柳田國男の視点」 (兼:「私の本について話そう」46)	217人
	10月11日(日) 11月21日(土)	大平 悦子	遠野ことばで聴く「遠野ものがたり」 (朗読)	計146人 計238人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
富士川 夏目 漱石 展	28年3月5日(土)	富士川義之 三浦 雅士	「富士川英郎・書物と詩の世界」	127人
	4月16日(土)	水村 美苗	「漱石と日本と日本語と日本文学」	228人
鮎川 展	4月29日(金・祝)	夏目房之介	「漱石の孫」	227人
	5月15日(日)	真野 響子 辻原 登	「夏目漱石作『夢十夜』より」(朗読と対談)	223人
	5月21日(土)	奥泉 光 いとうせいこう	「夏目漱石『坑夫』」(文芸漫談)	210人
西村 展	6月11日(土)	北川 透	「難路を歩む一鮎川信夫の詩が批評であること」	149人
	7月2日(土)	樋口 良澄 上村 佑(ゲスト)	「鮎川信夫という謎ー詩と生のありか」(兼・友の会講座)	118人
安岡 章太 郎展	9月3日(土)	西村 繁男	「人と出会って絵本が生まれる」	233人
	9月19日(月・祝)	内田麟太郎	「西村繁男さんと がたごとがたごと」	157人
光 晴展	10月1日(土)	石倉 三郎	安岡章太郎作「質屋の女房」(朗読とトーク)	90人
	10月30日(日)	小森 陽一 リービ英雄	「安岡章太郎ーその作家としての姿勢」	137人
	11月5日(土)	黒井 千次 安岡 治子	「作家の顔、父の顔ー安岡章太郎の素顔」	250人
	11月23日(水・祝)	中島 京子	「私の好きな安岡章太郎」	165人
子 規 展	29年2月19日(日)	紅野 謙介	「虚構の人・井上光晴」	66人
	3月4日(土)	井上 荒野 鵜飼 哲夫(聞き手)	「娘として、小説家としてー父・井上光晴」(兼:「私の本について話そう」49)	134人
	4月15日(土)	長谷川 權	「新しい子規」〈子規をつなぐ①〉	219人
	4月22日(土)	瀬戸口 郁	「子規 最期の一年」(朗読)〈子規をつなぐ②〉	220人
	4月30日(日)	稲畑 汀子、辻原 登、 長谷川 權、藤沢 周	子規創始の文章錬成会「山会」〈子規をつなぐ③〉	221人
	5月6日(土)	復本 一郎	「子規の芭蕉」〈子規をつなぐ④〉	215人
宇 野 展	5月20日(土)	三枝 昂之	「正岡子規ー文学という夢」〈子規をつなぐ⑤〉	211人
	6月3日(土)	奥泉 光 いとうせいこう	「宇野千代『色ざんげ』」(文芸漫談)	149人
角 野 展	6月24日(土)	尾形 明子	「しなやかな抵抗の人・宇野千代の文学」(兼・友の会講座)	152人
	9月2日(土)	角野 栄子	「おばけも魔女もおもしろい」 (兼:「私の本について話そう」52)	204人
周 五 郎 展	9月16日(土)	角野 栄子、 横山眞佐子	「ことばの魔法ーかく、きく、はなす」	220人
	9月30日(土)	NHK横浜放送局アナウ ンサー、キャスター	「横浜サウンド☆クルーズ」公開録音 山本 周五郎作品朗読会(共催: NHK横浜放送局)	150人
	10月7日(土)	神田 蘭(講談)	周五郎原作「夕靄の中」、赤穂義士伝 より「二度目の清書」〈周五郎遍歴①〉	162人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
周 五 郎 展	10月21日(土)	山本 一力	「山本周五郎と私」〈周五郎遍歴②〉	210人
	10月28日(土)	清原 康正	「山本周五郎の魅力」〈周五郎遍歴③〉	110人
	11月12日(日)	五大 路子	「おたふく」(朗読)、「『山本周五郎の妻』と横浜と」(トーク)〈周五郎遍歴④〉	205人
	11月23日(木・祝)	戌井 昭人	「青べか物語」「季節のない街」(朗読とトーク)〈周五郎遍歴⑤〉	180人
山 川	30年3月4日(日)	坂上 弘	「山川方夫一人と文学の魅力」 (兼:「私の本について話そう」53)	205人
与 謝 野 展	4月7日(土)	尾崎左永子	「『恋衣』そして晶子と古典」	206人
	4月14日(土)	竹下 景子	与謝野晶子「新訳源氏物語」から「桐壺」「若紫」(朗読)	216人
	4月21日(土)	三枝 昂之	「近代を創る—鉄幹晶子の五十年」	227人
	5月5日(土・祝)	今野 寿美	「『みだれ髪』—もうひとつの読み方」	213人
ク ロ ー デ ル 展	5月20日(日)	辻原 登	「世界書物の系譜—縺子の靴はどこへ行ったか?」	108人
	5月27日(日)	山本 泰朗、 中條 忍	「詩人大使の創作を支えた山内義雄」 (対談)	90人
	6月17日(日)	恩田 侑布子、金子美 都子、夏石 番矢、 芳賀 徹(コ-デ-イター)	「今に生きる前衛としての古典—詩人大使クロードルの句集百扇帖」をめぐって」(シンポジウム)	176人
	6月24日(日)	渡邊 守章 根岸 徹郎(聞き手)	クロードルの詩による創作能「薔薇の名—長谷寺の牡丹」上映会	247人
石 井 展	9月1日(土)	松岡 享子、 尾崎真理子	「石井桃子から手渡されたもの」 (対談)	233人
	9月15日(土)	尾崎真理子	「石井桃子と『幻の朱い実』」	215人
寺 山 修 司 展	9月30日(日)	J・A・シーザー、田中 未知、祖父江 慎 三浦 雅士(司会)	「寺山修司の現場」(シンポジウム)	169人
	10月7日(日)	三上 博史 田中 未知(トーク)	「地獄篇=悲しき自伝/長い遺書」 (朗読とトーク)	227人
	10月20日(土)	NHK横浜放送局アナウ ンサー、キャスター	「横浜サウンド☆クルーズ」公開録音 寺山修司作品朗読会(共催: NHK横浜放送局)	140人
	10月21日(日)	J・A・シーザー、幾原 邦彦、三浦雅士(聞き手)	「少年少女たちの行方—寺山修司の21世紀」(トーク)	199人
	11月17日(土)	三浦 雅士	「ベジャール/テラヤマ/ピナ・バウシュ」	217人
花 田	31年 2月9日(土)	四方田犬彦	「前衛と韜晦(ねこかぶり)」	112人
清 張 展	4月6日(土)	長塚 京三	「或る『小倉日記』伝」(朗読)	226人
	4月13日(土)	保阪 正康	「松本清張史観と昭和史」	220人
	4月28日(日)	阿刀田 高	「松本清張を推理する」	228人
江 藤	元年6月1日(土)	上野千鶴子	「戦後批評の正嫡 江藤淳」	219人
	6月8日(土)	高橋源一郎	「江藤淳になりたかった」	216人
西 巻	9月1日(日)	西巻 茅子	「50年以上絵本を描いてきて」	268人
	9月15日(日)	関谷 裕子	「西巻茅子先生とこぐま社の絵本作り」	253人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
中島敦展	10月5日(土)	細田 守、 池澤 夏樹(聞き手)	「映画『バケモノの子』と中島敦作品」	166人
	10月9日(水)	野村萬斎、藤原道山 池澤夏樹(トーク)	「野村萬斎、『敦』を語る。」 (朗読とトーク/共催：中島敦の会)	210人
	10月20日(日)	阿部 公彦、 中島 京子	「中島敦 あの名場面」(「日本文学 あの名場面」連載記念講演会)	122人
	11月4日(月・振休)	池澤 夏樹	「世界文学としての中島敦」	205人
	11月17日(日)	山下 真史	「中島敦と同時代の文学」	177人
獅子	2年2月29日(土)	牧村健一郎、 曾我部恵一	「発見・昭和の大衆モダン文学 ——獅子文六という作家を知っていますか？」	[中止]
三浦展	6月27日(土)	勝又 浩	「三浦哲郎一家霊を負った人」 (兼：友の会文学講座)	[延期] R3年度に延期
	7月19日(日)	栗原 小巻	「三浦哲郎作品から」	[延期] R3年度に延期
佐藤	9月5日(土)	柏葉幸子、野上暁、 金沢千秋	「佐藤さとる先生の思い出」	[延期] R3年度に延期
大岡昇平展	10月18日(日)	池澤 夏樹	「『レイテ戦記』を読む」 延期前の演題：「兵士の地理感覚と客観的世界像」	134人
	11月14日(土)	島田 雅彦	「さすらう離脱者」	125人
	11月21日(土)	湯川 豊	「大岡昇平文学の展開」	113人
金	3年3月14日(日)	黒川 創	「いま、新しく読む金達寿」	102人
新青年	4月17日(土)	佐野 史郎、 浜田雄介(ミニトーク)	「押絵と旅する男」(江戸川乱歩作)	105人
	4月24日(土)	中条 省平	「私の好きな『新青年』の作家たち」	101人
	5月8日(土)	芦辺拓、佐山一郎、 浜田雄介	「『新青年』という運動体」	111人
三浦展	6月19日(土)	勝又 浩	「三浦哲郎一家霊を負った人」 (兼：友の会文学講座)	101人
	7月17日(土)	栗原 小巻	「三浦哲郎作品から」(朗読) 作品・「忍ぶ川」	104人
佐藤	9月4日(土)	柏葉幸子、野上暁、 金沢千秋	「佐藤さとる先生の思い出」	93人
樋口一葉展	10月16日(土)	小池 昌代、 藤沢 周	「一葉の溜息、一葉のやさしさ—— その女(ひと)の声をたずねて」	136人
	10月30日(土)	伊藤比呂美	「一葉とわたし」	154人
	11月6日(土)	加賀美幸子、 坂本 有子	「一葉作品から」(朗読)	148人
金展	11月13日(土)	廣瀬 陽一 呉 文子	・「戦後日本を切り拓いた金達寿——その軌跡」 ・「季刊『三千里』創刊前後の金達寿先生——思い出すまに」(共催：駐日大韓民国総領事館ほか)	135人
吉田展	4年4月23日(土)	富士川義之	「翻訳家吉田健一」 *兼文字活字文化事業	159人
	5月7日(土)	松浦 寿輝	「吉田健一 ——黄昏の文学」	156人
	5月14日(土)	三浦 雅士	「批評と文明批評」	155人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	期 日	講 師	内 容	入場者数
キーン展	4年6月4日(土)	穂矢まりえ 森山 恵	「世界文学としての『源氏物語』—ドナルド・キーンの運命を変えたアーサー・ウェイリー訳」（兼：友の会文学講座／「私の本について話そう」55）	174人
	6月18日(土)	角地 幸男、 キーン 誠己	「それぞれの交遊—ドナルド・キーンを語る」	209人
	6月25日(土)	平野 啓一郎	「キーンさんの思い出」	180人
堀内展	9月11日(日)	堀内 花子、 林 綾野（聞き手）	「絵を愛した父」	201人
	9月17日(土)	巖谷 國士	「堀内誠一 絵の旅・文の旅」	194人
川端康成展	10月1日(土)	いとうせいこう 奥泉 光	「川端康成『雪国』」（文芸漫談）	203人
	10月22日(土)	荻野アンナ	「川端康成の小説万華鏡」	192人
	11月12日(土)	竹下 景子	「『掌の小説』（川端康成作）から」（朗読）	199人
	11月26日(土)	富岡幸一郎	「川端康成 魔界の文学」	160人
小津武井	5年4月15日(土)	岡田茉莉子、 平山 周吉	「岡田茉莉子さんに聞く—小津監督の思い出」	203人
	6月17日(土)	山岸 吉郎	「武井武雄、その生涯と芸術」 *兼友の会文学講座	87人
おまけ	9月9日(土)	野上 暁、 徳山 雅記	「学年誌の付録にみる子ども文化史」	75人
	9月18日(月・祝)	北原 照久	「コレクションの楽しみ」	140人
井伏展	10月5日(木)	絲山秋子(チャットコメント)	「朗読で楽しむ 井伏鱒二の対談 名場面」 朗読：山野史人、横堀悦夫(劇団青年座)	当日87人 会期中7-カイブ 視聴2,003件
	10月14日(土)	絲山 秋子	「リズムと余韻—私が井伏を推す理由」	209人
	10月28日(土)	勝又 浩	「井伏鱒二—山椒魚の忍耐」	137人
常設	6年2月11日(日・祝)	朝霧 カフカ	文豪ストレイドッグス×「文学の森へ 神奈川と作家たち」展コラボレーション講演会	214人
橋本治展	4月20日(土)	松家 仁之、 柴岡美恵子	「冗談と真情と」（講演と対談）	228人
	5月3日(金・祝)	橋爪 大三郎	「橋本治という時代」	213人
	5月25日(土)	浦谷 年良、 松家仁之(アターク)	記録映像上映会「豪華本『マルメロ草紙』はこうして生まれた」	207人
庄野展	6月29日(土)	江國 香織、 刈谷 政則	「物語の幸福」	196人
	7月13日(土)	今村 夏子、 島田 潤一郎	「おとうくん、おかあくんの思い出」	214人
古田	9月15日(日)	酒井 京子	「『おいしいのぼうけん』誕生の秘密」	192人
安部公房展	10月27日(日)	近藤 一弥、 三浦 雅士	「成長する壁と覗き穴」	181人
	11月4日(月・振)	苅部 直、 鳥羽 耕史	「安部公房と戦後の政治・芸術運動」	196人
	11月17日(日)	川上 弘美、 三浦 雅士	「安部公房または「現在って何？」」	203人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### ○説明会及びギャラリートーク(スライドトーク)の開催

会場=中会議室(展示説明会)及びエントランスホール(無料)

	展 示 名	解 説 者	期 日 等	入場者数
18	吉屋信子展	展示担当者	5月21日, 27日の計2回実施(展示説明会)	82人
	俳句 その魅力展	展示担当者	11月4日, 4日の計2回実施(展示説明会)	46人
19	中原中也と富永太郎展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計6回実施	262人
	佐藤さとる展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	142人
	埴谷雄高『死霊』展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	127人
20	澁澤龍彦回顧展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計6回実施	103人
	かこさとし展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	132人
	堀田善衛展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計2回実施	19人
21	森鷗外展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計4回実施	163人
	中島敦展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計4回実施	133人
	茂田井武展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	34人
	大乱歩展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計6回実施	199人
	長谷川時雨展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	12人
22	城山三郎展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計6回実施	175人
	開高健の世界展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	81人
	長崎源之助展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計4回実施	70人
	小泉八雲展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	372人
23	遠藤周作展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計5回実施	228人
	漱石と文人たちの書画展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	76人
	安野光雅展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	134人
	林芙美子展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計6回実施	196人
	作家と万年筆展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	80人
	中園英助展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計4回実施	49人
24	斎藤茂吉展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計6回実施	245人
	中野重治の手紙展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	54人
	島崎藤村展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計5回実施	175人
	添田啞蟬坊・知道展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計3回実施	55人
25	井上ひさし展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	383人
	『中原中也の手紙』展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計4回実施	83人
	賢治+司修注文の多い展覧会	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計2回実施	35人
	泉鏡花展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	140人
	黒岩重吾展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計4回実施	31人
26	太宰治展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	285人
	菊地信義展	展示担当者	開催期間中の日曜日 に計4回実施	147人
	なかえよしを+上野紀子展	展示担当者	開催期間中 に計2回実施	87人
	須賀敦子展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	396人
	寺田透展	展示担当者	開催期間中の日曜日 に計4回実施	43人
27	谷崎潤一郎展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	250人
	中勘助展	展示担当者	開催期間中の日曜日 に計3回実施	85人
	佐野洋子展	展示担当者	開催期間中 に計4回実施	198人
	柳田國男展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	219人
	富士川英郎展	展示担当者	開催期間中 に計4回実施	46人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	展 示 名	解 説 者	期 日 等	入場者数
28	100年目に出会う夏目漱石	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計7回実施	473人
	鮎川信夫と「荒地」展	展示担当者	開催期間中の日曜日 に計4回実施	73人
	西村繁男の世界展	展示担当者	開催期間中 に計3回実施	75人
	安岡章太郎展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	144人
	井上光晴展	展示担当者	開催期間中 に計3回実施	36人
29	正岡子規展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	317人
	宇野千代展	展示担当者	開催期間中の日曜日 に計4回実施	124人
	角野栄子展	展示担当者	開催期間中 に計4回実施	146人
	山本周五郎展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	238人
	山川方夫と「三田文学」展	展示担当者	開催期間中の土曜日 に計4回実施	98人
30	与謝野晶子展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	355人
	ポール・クローデルと日本展	展示担当者 根岸 徹	開催期間中の日曜日 に計3回実施	107人
	石井桃子展	展示担当者	開催期間中 に計4回実施	186人
	寺山修司展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	312人
	花田清輝展	展示担当者	開催期間中の土曜日 に計4回実施	57人
31 ／ 元	巨星・松本清張	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	277人
	江藤淳展	展示担当者	開催期間中の日曜日 に計3回実施	125人
	西巻茅子展	展示担当者	開催期間中 に計4回実施	78人
	中島敦展	展示担当者	開催期間中の金曜日 に計8回実施	205人
	獅子文六展	展示担当者	開催期間中の土曜日 に計5回実施	29人
2	大岡昇平展	展示担当者	開催期間中の金曜日（文字・活字文化の日含む）に計6回実施（ギャラリートークの日に限り、展示品の三八式歩兵銃に直接触れる体験会を実施。164人が体験しました）	104人
	創刊101年記念展 永遠に「新青年」なるもの	展示担当者	開催期間中の金曜日に計1回実施	12人
3	創刊101年記念展 永遠に「新青年」なるもの	展示担当者	開催期間中の金曜日に計7回実施 (2021年3月20日からの会期中に計8回開催)	60人
	三浦哲郎展	展示担当者	開催期間中の日曜日に計5回実施	43人
	佐藤さとる展	展示担当者	開催期間中の金曜日に計3回実施	78人
	樋口一葉展	展示担当者	開催期間中の金曜日（文字・活字文化の日含む）に計9回開催	208人
4	吉田健一展	展示担当者	開催期間中の金曜日に計7回実施	121人
	ドナルド・キーン展	展示担当者	開催期間中の日曜日に計3回実施	168人
	堀内誠一 絵の世界	展示担当者	開催期間中の金曜日に計3回実施	84人
	川端康成展	展示担当者	開催期間中の金曜日と文字・活字文化の日 に計9回実施	217人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

	展 示 名	解 説 者	期 日 等	入場者数
5	小津安二郎展	展示担当者	開催期間中の金曜日に計8回実施	311人
	武井武雄展	展示担当者	土曜日、日曜日に計3回実施	83人
	「おまけ」と「ふろく」展	展示担当者	開催期間中の日曜日に計3回実施	69人
	井伏鱒二展	展示担当者	開催期間中の金曜日と文字・活字文化の日に計8回実施	189人
6	橋本治展	展示担当者	開催期間中の毎週金曜日（5月3日を除く）に計8回開催	289人
	庄野潤三展	展示担当者	開催期間中の土日に計3回開催	64人
	古田足日展	展示担当者	開催期間中の土日祝に計3回開催	109人
	安部公房展	展示担当者	開催期間中の毎週金曜日に計8回開催	335人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### 【その他の展示関連業務】

##### ○展示複製資料の作成

館蔵資料を中心に常設展等の代替展示物として複製資料の作成を行いました。

年度	製作内容等	製作点数
18	開高健「日本三文オペラ」原稿など	8件17点
19	島尾敏雄「第一期魚雷艇学生」原稿など	10件19点
20	井上靖「しろばんば」原稿など	10件17点
21	谷崎潤一郎「痴人の愛」原稿など	10件22点
22	中島敦「弟子」原稿、中島敦画自画像など	13件19点
23	有島武郎「溺れかけた兄妹」原稿など	8件12点
24	島崎藤村「桜の実の熟する時」原稿 など	6件16点
25	夏目漱石「達磨渡江図」（旧蔵品・額）など	9件14点
26	太宰治 井伏鱒二宛書簡（結婚誓約書）など	7件14点
27	夏目漱石「三四郎」原稿など	6件10点
28	夏目漱石「正岡子規へ送りたる句稿二十二」原稿など	6件 6点
29	夏目漱石旧蔵品 挿手硯など	8件 9点
30	夏目漱石「道草 十六、十七」原稿など	3件 5点
31/1	夏目漱石 中根重一・夏目鏡子宛書簡など	8件15点
2	夏目漱石「思ひ出す事など」原稿など	8件11点
3	夏目漱石 漢詩「客中逢春寄京友」草稿など	7件 9点
4	太宰治 井伏鱒二宛書簡(S10.12.23消印)など	4件 5点
5	中島敦「蠱疾」（「かめれおん日記」）原稿など	3件 5点
6	庄野潤三「舞踏」草稿など	5件10点

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### ■文字活字文化振興事業（平成18-令和6）（平成18, 19は受託事業として実施）

県内の文字・活字文化振興のために講演会、朗読会、朗読コンサート、キッズクラブ事業、映画会等を実施し、読書文化の振興と若年層の活字離れ、文学離れの抑止を図り、同時に県内各所で生涯学習支援活動等を実施しました。

#### 【講演会等】

##### ○文化講演会・カルチャーイベント

共催：（財）はまぎん産業文化振興財団

会場=はまぎんホールヴィアマーレ

期 日	講 師	内 容	入場者数
18年4月29日(土・祝)	永 六輔	「誰かとどこかで」	478人
19年4月30日(月・振)	浅田 次郎	「『中原の虹』をめぐって」	421人
20年4月19日(土)	長谷川 權	「『おくのほそ道』とは何か」	429人
21年5月16日(土)	平岩 弓枝	「横浜今昔」	322人
10月11日(日)	有馬 稲子	「六条の御息所」	428人
22年4月4日(日)	岸 恵子	朗読『そうか、もう君はいないのか』 から トーク「ヨコハマ」	472人
10月16日(土)	有馬 稲子	源氏物語朗読会「若菜」 (瀬戸内寂聴訳「源氏物語」から)	406人
23年4月17日(日)	石坂 浩二 加藤 宗哉(聞き手)	「遠藤周作『侍』を読む」	457人
24年4月22日(日)	風間 杜夫	「北杜夫作『楡家の人びと』第1部 から」(朗読)	392人
25年4月13日(土)	森 ミドリ、 太田 治子	「森ミドリ 文学コンサート 作家 太田治子さんをお迎えして」	367人

##### ○講演会「私の本について話そう」

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	入場者数
18年4月23日(日)	きむらゆういち	『あらしのよるに』(入場無料) (子ども読書活動推進フォーラム)(共催：県子ども読 書推進会議、県教育委員会)	236人
9月18日(月・祝)	夏目房之介	『孫が読む漱石』	231人
19年3月3日(土)	梁 石日	『ニューヨーク地下共和国』	118人
3月18日(日)	斎藤 栄	『湘南太平記』	185人
4月21日(日)	なかえよしを	『ねずみくんのチョッキ』(入場無料) (子ども読書活動推進フォーラム)(共催：県子ども読 書推進会議、県教育委員会)	181人
8月4日(土)	佐藤さとる、 柴田祐規子(聞き手)	『本朝奇談 天狗童子』	224人
20年2月2日(土)	黒岩比佐子	『『食道楽』と日露戦争』	160人
3月8日(土)	半藤 一利	『昭和史』	239人
8月24日(日)	かこさとし	「あそびのはなし えほんのはなし かがくのはなし」	277人
21年1月17日(土)	出久根達郎	『御書物同心日記』	149人
2月1日(日)	村岡 恵理	『アンゆりかご 村岡花子の生涯』	202人
8月15日(土)	松居 直	『松居直のすすめる50の絵本 大人の ための絵本入門』	113人
9月5日(土)	津島 佑子 陳 玉慧	『あまりに野蛮な』(台湾文学講演会) (共催：国立台湾文学館 協賛：横浜国立大学)	77人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

期 日	講 師	内 容	入場者数
22年2月28日(日)	三木 卓	『ほろびた国の旅』『懐かしき友への手紙』	96人
3月14日(日)	太田 治子	『明るい方へ 父・太宰治と母・太田静子』	220人
5月15日(日)	真山 仁	『プライド』	180人
9月23日(木・祝)	角野 栄子	『魔女の宅急便』	150人
23年1月29日(土)	尾崎左永子	『尾崎左永子の語る百人一首の世界』	218人
7月2日(土)	青木 奈緒	『幸田家のきもの』	180人
7月23日(土)	夏目房之介	「孫からみた漱石の書画」	197人
12月3日(土)	司 修	『本の魔法』	95人
25年12月15日(土) 共催：日韓文化交流会議、 (公財)日韓文化交流基金	江國 香織 鄭 梨賢 辻原 登	日韓文化交流基金創立30周年記念事業 日本と韓国で 人気の女性作家による、自作朗読と鼎談 「ことばの調べにのせて」	199人
28年8月28日(土)	いしいしんじ	「『港、モンテビデオ』+その場小説「港」」	73人
29年6月10日(土)	山田 宗睦	「日本書紀のズイから世界をのぞく」	188人
3年11月27日(土)	山根 貞男 寺田 農 岡島 尚志	『日本映画作品大事典』刊行記念トーク (私の本について話そう54特別編)	128人
4年12月10日(土)	藤沢 周 岡崎 成美 岡崎智恵子 尾形龍太郎	「連作小説館」と「世阿弥最後の花」 (朗読とトーク)	116人

○俳句大会の開催  
「俳句 その魅力展」を記念して俳句大会を開催。  
選評会会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
18年10月20日(金)	星野 椿	一般の部 投句選評会・講話	93人
10月22日(日)	復本 一郎	ジュニアの部 投句選評会・講話	48人

○子ども読書活動推進

期 日	講 師	内 容	受講者数
18年 4月23日(日)	きむらゆういち	『あらしのよるに』*1 (私の本について話そう)	236人
10月28日(土)	かこさとし	「子ども、遊び、絵本」*2	402人
19年 4月21日(日)	なかえよしを	『ねずみくんのチョッキ』*1 (私の本について話そう)	181人
10月27日(土)	中川李枝子	「たくさんのおともだち」*2	384人

\*1…共催：神奈川県子ども読書推進会議、神奈川県教育委員会 会場=展示館ホール(入場無料)

\*2…共催：神奈川県子ども読書推進会議、神奈川県教育委員会、(財)はまぎん産業文化振興財団

会場=はまぎんホールヴィアマーレ(入場無料)

○子ども読書活動推進フォーラム

(主催：神奈川県子ども読書活動推進会議、神奈川県教育委員会、財団法人はまぎん産業文化振興財団)

期 間	講演内容	会 場
20年4月19日(土)	事例発表、講演(講師：戸田和代)	展示館ホール
20年10月25日(土)(協力)	詩の朗読、講演(講師：矢崎節夫)	はまぎんホールヴィアマーレ

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

期 間	講演内容	会 場
21年10月3日(土)(協力)	群読体験、講演(講師：浜尾朱美)	かながわ県民センター
22年10月30日(土)(協力)	群読体験、講演(講師：西巻茅子)	かながわ県民センター
23年11月5日(土)(後援)	群読体験、講演(講師：小風さち)	かながわ県民センター
24年10月27日(土)(後援)	群読体験、講演(講師：清水眞砂子)	かながわ県民センター

※当初平成18～19は共催、その後平成24まで後援、平成25から再び当館共催に復す。

#### ○子ども読書活動推進フォーラム（新）

※平成20～24は当館後援(会場=県民センター)、平成25～当館共催等 会場(無印)=展示館ホール (入場無料)

期 日	講 師	内 容	受講者数
25年12月21日(土)	末盛千枝子	「絵本はまだ子どもだけのものだと お思 いですか?」+事例発表 (県立図書館共催)	171人
26年12月6日(土)	山下 明生	「童話への旅」+事例発表 (県立図書館 共催)	134人
27年12月5日(土)	金柿 秀幸	「絵本をとりまく変化と対応」+事例発 表 (県立図書館共催)	140人
28年12月3日(土)	角野 栄子	「幼年童話の面白さ」+事例発表 (県立 図書館共催)	192人
29年12月9日(土)	内田麟太郎	「わた詩の本」+事例発表 (当館後援/ 会場=県立青少年センター)	
30年12月8日(土)	松居 友	「絵本は愛の体験です」+事例発表 (県 立図書館共催)	143人
元年12月8日(日)	鈴木まもる	「絵本と鳥の巣の不思議」+事例発表 (県立図書館共催)	163人
2年12月12日(土)	浜田 桂子	「あなたが生まれたのは、すごいこと」 (事例発表は中止) (県立図書館共催)	現地開催は中止 当館で動画収録 /講演のみ2月9 日から「か なチャンTV」上 で配信
3年11月28日(日)	二宮 敦人	「人間になるために書く」+事例発表 (県立図書館主催)	オンライン 開催
4年12月11日(日)	古内 一絵	「ヤングアダルト世代の皆さんのご質 問にお答えして プラス十代のうちに 経験しておいてよかったいくつかの 事柄」+事例発表 (当館後援/会場=県 立図書館・オンライン開催)	会場 15人 オンライン 48人
5年11月3日(金・祝)	金原 瑞人	「翻訳の言葉、言葉の翻訳」+事例発表 (当館後援/会場=県立図書館)	
6年12月8日(日)	名久井直子	「本を装う ブックデザインの世界」 +事例発表 (当館後援/会場=県立図 書館)	

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### ○台湾文学講演会

共催：国立台湾文学館 協賛：横浜国立大学

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
21年9月6日(日)	朱 天心	「わたしにとっての日本/日本文学」	42人
9月19日(土)	劉 亮雅 小谷 真理	「台湾のクィア文学と 日本のSF、クィア、ファンタジー」	48人
9月20日(日)	紀 大偉	「台湾文学とセクシュアリティ」	43人

#### ○『丸谷才一全集』刊行記念講演会(兼：文字・活字文化の日記念行事)

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
25年10月26日(土)	三浦雅士 湯川豊、松家仁之 辻原登(挨拶)	「作家の秘密・文学の謎」(講演) 「丸谷さん・その肖像」(対談)	130人

#### ○「装幀=菊地信義とある『著者50人の本』展」イベント

会場=エントランス/中会議室 (受講料 無料)

期 日	出 演	内 容	参加者数
26年5月31日(土)	菊地信義、稲川方人、水 戸部功(オペレーション)	オープニングイベント「装幀ライブ 『ページ=本』の誕生」	134人
8月10日(日)	印刷博物館 印刷の家 インストラクター	「活版印刷体験とマイノートづくり」	22人

#### ○飯島耕一没後1年記念事業(共催)

会場=展示館ホール (受講料 無料)

期 日	講師・出演	内 容	受講者数
26年9月14日(日)	八木 忠栄 新倉 俊一 八木忠栄、新倉俊一 暮尾淳、井川博年、 八木幹夫	講演「飯島耕一・人と作品」 講演「飯島耕一とアメリカ」 対談 朗読と鼎談「詩人飯島耕一の詩の魅力 を語る」	98人

#### ○戦後70年講演会

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
27年8月15日(土)	保阪 正康	「戦争と文学—大岡昇平の作品は何を 伝えているか」	175人

#### ○「100年目に出会う 夏目漱石」展 小型記念日付印 押印イベント

会場=展示館ホール (参加料 無料)

期 日	協 力	内 容	参加者数
28年5月3日(火・祝)	横浜港郵便局(窓口 営業部)	漱石展開催記念小型記念日付印 押 印イベント	199人

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

#### ○大佛次郎生誕120年記念講演会

共催：大佛次郎記念館

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
29年6月18日(日)	鹿島 茂	「フランス第三共和政と大佛次郎」 鹿島茂の直球勝負!!～今、民主主義とは何かを問う～	223人
10月9日(月・祝)	辻原 登	「物語作者大佛次郎」	159人

#### ○「日本文学 あの名場面」連載記念講演会

共催：神奈川新聞社

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
30年2月24日(土)	平野啓一郎	「個人の一生と世界史～林京子の文学」	118人
元年10月20日(日)	阿部 公彦、 中島 京子	「中島敦 あの名場面」(中島敦展記念)	122人

#### ○朗読とシンポジウムの集い 『赤い鳥』を語る

共催：『赤い鳥』創刊100年記念事業実行委員会

会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
30年9月23日(日・祝)	山根基世(朗読)、佐藤宗子、矢崎節夫、松本育子(以上パネリスト)、宮川健郎(コーディネーター)	『赤い鳥』掲載の作品から 有島武郎「一房の葡萄」(朗読)、『『赤い鳥』が目指したこと」(シンポジウム)	204人

#### ○古田足日シンポジウム

共催：白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所 古田足日研究プロジェクト

会場=展示館ホール(受講料 無料)

期 日	講 師	内 容	受講者数
5年11月25日(土)	藤田のぼる、仲本美央ほか 佐藤宗子(司会)、宮川健郎(コメンター)	『赤い鳥』掲載の作品から 有島武郎「一房の葡萄」(朗読)、『『赤い鳥』が	75人

#### ○神奈川近代文学館開館40周年記念企画「文学・どこへゆくのか」

会場=展示館ホール

期 日	出 演	内 容	受講者数
5年11月12日(日)	湯川豊、尾崎真理子	第Ⅰ期①「現代日本文学のほんとうの流れ」	113人
12月3日(日)	尾崎真理子、木内昇	第Ⅰ期②「エンタテインメントの意義」	94人
6年 1月21日(日)	湯川豊、尾崎真理子	第Ⅰ期③「この作家を忘れない」	115人
4月7日(日)	辻原 登 *	第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」①	154人
4月27日(土)	池澤 夏樹 *	第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」②	190人
5月18日(土)	小川 洋子 *	第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」③	205人
6月16日(日)	平野 啓一郎 *	第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」④	195人
10月14日(月・祝)	宮部 みゆき *	第Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」①	200人
7年 1月26日(日)	江國 香織 *	第Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」②	189人
3月2日(日)	松家 仁之 *	第Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」③	105人
3月30日(日)	湯川豊、尾崎真理子	最終回・対談「文学・どこへゆくのか」	119人

\*聞き手・ナビゲーター：湯川豊、尾崎真理子

### Ⅲ 団体の業務遂行能力について

○ベートーヴェン生誕250年記念講演会 会場=展示館ホール（受講料：無料）

期 日	講 師	内 容	受講者数
令和3年7月3日(土)	新保 祐司	「ベートーヴェンと日本近代文学」	85人

○講演とシンポジウム 会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
5年2月23日(木・祝)	川村 湊、青来 有一、 宮内 勝典、村上 政彦、森 詠	「ウクライナの核危機 林京子を読む」 (共催：林京子さんの人と文学を語る会)	134人

○小林秀雄没後40年記念連続講演「小林秀雄は永遠に新しい！」 会場=展示館ホール

期 日	講 師	内 容	受講者数
5年6月24日(土)	苅部 直、 新保 祐司	『モオツァルト』をどう読むか(講演) 「小林秀雄とグレン・グールド」(講演) 「鎌倉と音楽と小林秀雄」(対談)	202人
(vol.2) 12月10日(日)	先崎 彰容、 前田 勉、 新保 祐司	・「うた・詞・物語 —小林秀雄と本居宣長—」(講演) ・「二冊の『本居宣長』—村岡典嗣と小林秀雄—」(講演) ・「批評と学問」(鼎談)	176人